

□ 発行 / 新潟県西蒲原郡西川町役場 □ 編集 / 総務課 □ 毎月10日・25日発行

チビッツの天国



毎日ジメジメとした梅雨時でもいつしか過ぎ去り、あちらこちらの木立から聞こえてくる蝉（せみ）の声も、私たちの膚に暑さを感じさせる今日このごろで、又本格的な夏が、呼ばずともやってまいりました。

多少の涼しさを求めて、カメラのレンズをプールに向けてみました。水しぶきを上げて水に親しむ「チビッツ子カッパたち」が、レンズいっぱいに入りました。これから迎える猛暑に負けないう体力をつくろうと、力いっぱい泳ぎまわる顔ぶれを見てください。

■使用区分

●平日 午前九時から十二時まで
使用許可団体

午後一時から四時まで
曾根小学校児童

午後五時から七時まで
一般町民

●休日・祭日

午前九時から午後七時まで
一般町民、使用許可団体



- 繰越金 一六、三三二千円追加
- 諸収入(地方産業育成資金貸付金元利収入) 五、〇〇八千円追加
- (農業用施設災害復旧費補助金) 三七六千円
- 町債(臨時地方道整備事業債) 一六、八〇〇千円追加
- (町民野球場建設債) 五、四〇〇千円追加
- 歳出
- 総務費(公務員宿舍修繕料) 三二〇千円追加
- (車間距離調整区間看板等負担金) 五九千円
- 民生費(福祉会館暗幕購入費) 一五二千円
- (保育所運営費補助金) 一、一三二千円追加
- 衛生費(巻町外三方町衛生組合負担金) 二、一六五千円追加

議決件数20件

議員提出案2件

原案可決

町議会 (六月二十三日～二十七日)

第二回定例会報告

第二回定例会は、六月二十三日招集され、提出議案をそれぞれ原案可決、承認し同月二十七日閉会しました。

●本会議のあらまし
 ○招集日(六月二十三日)
 会議録署名議員を指名し、会期を二十七日までの五日間と決定しました。
 次に、議員提出の「西川町議会会議規則の一部改正について」提出者の説明を聞き、審議の結果、原案どおり可決しました。
 次に、町長提出議案十七案を一



括上程し、町長の提案理由の説明を受けました。
 つづいて、議員提出の「昭和五十四年度産産者米価等に関する意見書」について提出者の説明を聞き、審議の結果、原案どおり可決しました。(出席議員十九名)
 ○第二日目(六月二十六日)
 六名の議員から、町政について一般質問が行われました。
 (出席議員二十二名)
 ○第三日目(六月二十七日)
 町長提出議案(十七案)の審議を行い、いずれも原案どおり可決または承認いたしました。
 次に、本日町長から提出された議案(一案)について、提案理由の説明を聞き、審議の結果、原案のとおり可決しました。
 つづいて、常任委員会委員の選任を行い本定例会は閉会しました。(出席議員二十二名)
 ●定例会で議決された議案は次のとおりです。

- 町長提出議案
- 町長専決処分について(西川町税条例の一部改正)(承認)
- 町長専決処分について(西川町国民健康保険税条例の一部改正)(承認)
- 町長専決処分について(曾根小学校校舎建築工事請負契約の締結の一部変更)(承認)
- 町長専決処分について(昭和五十四年度西川町一般会計補正予算(第十号))(承認)
- 町長専決処分について(昭和五十四年度西川町一般会計補正予算(第十一号))(承認)
- 町長専決処分について(昭和五十四年度西川町一般会計補正予算(第十二号))(承認)
- 新潟県町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増減及び規約の変更について(原案可決)
- 新潟県町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増減及び規約の変更について(原案可決)
- 新潟県消防団員等公債組合を組織する地方公共団体の数の増減及び規約の変更について(原案可決)
- 土地改良事業の施行について

- (原案可決)
- 西川町職員定数条例の一部改正について(原案可決)
- 西川町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について(原案可決)
- 実費弁償等に関する条例の一部改正について(原案可決)
- 西川町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について(原案可決)
- 西川町議員の旅費に関する条例の一部改正について(原案可決)
- 昭和五十四年度西川町一般会計補正予算(第三号)(原案可決)
- 契約の締結について(原案可決) 議員提出議案
- 西川町議会会議規則の一部改正について(原案可決)
- 昭和五十四年度産産者米価等に関する意見書(原案可決)
- 昭和五十四年度西川町一般会計補正予算(第三号)のあらまし
- 歳入
- 町税(固定資産税) 八、三五二千円追加
- 国庫支出金(工業再配置促進費補助金) 二四、〇〇〇千円
- 県支出金(農林水産業費補助金) 一一、四九七千円
- (地方産業育成資金貸付金) 二、〇〇〇千円追加
- 繰入金(社会福祉体育施設整備基金繰入金) 一六、八〇〇千円減額

- 農林水産業費(新潟県農業者友好訪中団派遣事業費負担金) 五〇千円
- (浦村集落開発センター補助金) 三、六〇〇千円
- (銘柄米生産出荷モデル集落育成事業補助金) 四〇〇千円
- (水田裏飼料作物生産振興対策事業補助金) 一六五千円
- (土地改良安全施設設置工事、曾根、平野地区) 八七〇千円
- (農道舗装事業費) 一一、七八六千円
- 商工費(地方産業育成資金貸付金関係) 七、〇〇〇千円
- 土木費(道路維持費) 一、〇〇〇千円追加
- (町道改良工事) 三、五一〇千円追加
- (町道拡張用地購入費) 四七、一〇〇千円追加
- 教育費
- 小学校費(升湯小学校グラウンド用地購入費) 四九七千円
- (曾根小学校建設費) 四、七三三千円追加
- 保健体育費(町民野球場建設費) 一一、六八七千円追加
- この結果今回の補正額は七三、〇七二千円で、予算総額は二〇億三千百六十八千円となっております。

●六月定例会から登壇制を採用しました。
 ●六月定例会から登壇制を採用しました。
 ●六月定例会から登壇制を採用しました。
 ●六月定例会から登壇制を採用しました。

- 月日 事項
- 六月 西川町議会第二回定例会
- 二十三日
- 二十七日
- 七月 一日 昭和五十四年度産産者米価実現、地域農業確立、食糧堅持、西蒲地区農民大会が分水町で開催(議長出席)
- 二日 西蒲原郡精神薄弱児収容施設組合議会が弥彦村において開催(議長出席)
- 四日 西蒲原郡中小企業振興対策協議会・同連合商工会合同通常総会が巻町で開催(議長出席)
- 四日 西蒲土地開発公社理事會が巻町で開催(議長出席)
- 十六日 新潟県町村議会議長会定期総会及び自治振興促進懇談会が新潟市で開催(議長出席)
- 二十日 新潟県町村職員退職手当組合議会定例会が新潟市で開催(議長出席)

七月二十二日は 農業委員会委員選挙

任期満了による西川町農業委員会委員一般選挙は、七月十五日に告示され、七月二十二日に投票が行われます。
 これからの農業を考えてくれる農業者の代表を選ぶ大切な選挙です。よく考えて投票しましょう。

●投票時間
 午前七時から午後六時まで
 ●投票できる人
 次の三つの要件とも備えている人が投票できます。

- 西川町に住所を有する人
- 昭和三十四年四月一日までに

生まれたる人

○十アール以上の農地の経営者
 およびその同居の親族またはその配偶者で、耕作従事日数が年間おおむね六十日以上の人
 ※不在者投票ができる人
 投票は、投票日に投票場で行うのが原則ですが、次のような事由で投票日に投票できない人は、不在者投票ができます。

○仕事の都合で他の市町村へ行くかなければならない人
 ○やむを得ない用務や事故のため、他の市町村へ旅行中または

- 選挙に関する問い合わせは、選挙事務室(役場内 TEL111-1)へお願いします。

議会情報

- 月日 事項
- 六月 西川町議会第二回定例会
- 二十三日
- 二十七日
- 七月 一日 昭和五十四年度産産者米価実現、地域農業確立、食糧堅持、西蒲地区農民大会が分水町で開催(議長出席)
- 二日 西蒲原郡精神薄弱児収容施設組合議会が弥彦村において開催(議長出席)
- 四日 西蒲原郡中小企業振興対策協議会・同連合商工会合同通常総会が巻町で開催(議長出席)
- 四日 西蒲土地開発公社理事會が巻町で開催(議長出席)
- 十六日 新潟県町村議会議長会定期総会及び自治振興促進懇談会が新潟市で開催(議長出席)
- 二十日 新潟県町村職員退職手当組合議会定例会が新潟市で開催(議長出席)

生かして使おう資源とエネルギー

各家庭でも石油消費節約を

資源とエネルギーは、私たちの共通の財産です。その資源やエネルギーによって、私たちの生活は向上してきました。しかし、地球上の資源は有限であり、我が国ではそのほとんどを海外に依存しています。限られたものを大切に使う、生かして使う、できるだけ捨てない、使い終わった物もなるべく回収し、再生して活用するといった考え方や生活習慣が必要となっています。

とくに最近では、石油をめぐる国際情勢が厳しくなっていることから、国際エネルギー機関加盟各国では、協調してエネルギー消費の節減や燃料転換などにより約五パーセントの石油消費の削減を行うことにしています。

このため政府では、この目的達成のため、省エネルギー対策に積極的に取り組んでい

- (1) 室内に温度計を準備し、室温も暖房時には摂氏19度以上としない。また冷房時にはおおむね摂氏28度とするよう努める。
- (2) 鉄道、バス等の大量輸送機関の利用、自転車の利用により、マイカー通勤、通学、買い物できる限り自粛する。
- (3) レジャーはできる限り鉄道・バス等を利用することとし、特にマイカーによる休日の高速道路への乗り入れをできる限り自粛する。
- (4) 経済速度(高速道路では時速80キロメートル以下)による走行を励行する。
- (5) テレビの視聴時間の短縮や冷暖房器具、電灯をこまめに消すことにより適切なエネルギーの節約に努める。

「人並みの貯金」がないといざというときに大変です。」

家庭でもいざというとき貯金がないと、毎日の生活が不安ですね。石油もお金と同じです。とくに日本は、エネルギーの89パーセントを外国から輸入、石油の78パーセントを政情不安な中東地域からの供給に頼っているというのを忘れてはなりません。備蓄の努力とともに、毎日のエネルギー節約がぜひとも必要であり、また大変重要なことです。

使わない電気器具はこまめにスイッチを切りましょう。

これは家じゅうのルールにする

ガスは大切に 上手に使いましょ

日盛りの汗と疲れをおおりに流してすっきり。そんなときにも使われている都市ガス。毎日、身近に使っていただいている都市ガスは、生活に欠かせない大切なエネルギーです。大切なエネルギーは上手に使うよう心がけたいものです。

お風呂をわかし過ぎていませんか。湯沸器の口火もこまめに消しましょう。また、コンロやレンジは、炊事の主役として身近にあっても大活躍。それだけに煮こぼれなどで汚れることも多い器具です。汚れのためパーナが目づまりしやすくなり、火が弱くなるといいます。例えは、人のいない部屋の照明はこまめにスイッチをきる。テレビのスイッチ、ガス湯沸器の口火も使う時だけつけるようにすることなど、これだけでも省エネに貢献します。

かからないようにしてください。

○ 点火・消火は、目で確かめるように習慣づけましょう。自動点火のコンロを使うときは、器具せん(器具のコック)をゆっくり回して点火しましょう。

○ 水や油を使う台所では、ゴム管は早くいたみがちです。ひび割れたゴム管からガスがもれ、事故になった例があります。折り曲げてみてひび割れしていたらすぐ取り換えてください。

○ ゴム管は化学品検査協会の検査に合格した都市ガス専用のものをお使いください。ゴム管は細いもの(九・五ミリ)と太いもの(一二・三ミリ)があり、細いものは主にコンロ・炊飯器などガス消費量が比較的少ない器具に、太いものはふろや湯沸器など、比較的气体消費量の多いものに使います。ビニール管は弾力がなく危険ですから使わないでください。

○ 炊飯器にふきんをのせたまま使えば、過熱から火災になりかけた例があります。炊飯器やコンロ・レンジなどガスを使うときは、近くに燃えやすいものを置



ご存じですか?

国民年金の免除制度

ただいま、昭和五十四年度分(昭和五十四年四月から昭和五十五年三月まで)の国民年金保険料の免除申請を受け付けています。国民年金の保険料免除とは

- ①失業して、所得がない。
- ②火災や風水害などにあい、被害をうけた。
- ③家計が苦しい...

などの事情で保険料を納めることが難しいと認められる人に、その年度の保険料の納付を免除する制度です。

さて、免除を希望される人は「保険料免除申請書」を七月三十一日までに住民課へ提出してください。

その申請書の内容が免除の基準に該当した場合、保険料は免除されることとなります。

もし、この手続きを怠り、保険料を滞納しておくと、将来、年金がうけられないこともあり得ます。しかし、免除をうけた期間は、



内であれば、その期間は当時の保険料額で納めること(追納という)ができます。

この追納を忘れずにすれば、年金額は保険料を納めた場合と同額になりますので、その後、生活にゆとりができたならば追納するよう心掛けましょう。

被保険者と保険証

国保被保険証

●一世帯に一枚

国保に加入した人を被保険者といいますが、国保に加入すると世帯ごとに保険証が交付されます。つまり一世帯に何人被保険者である家族がいても、原則として保険証は一枚しか交付されません。ただし、長期旅行に出かける場合、修学のため、家族と離れて他市町村で生活しなければならぬ場合には別個に保険証が受けられます。また、被保険者のいる世帯主は加入と同時に保険税を納めなければなりません。

このため保険証を受け取ったら記入間違いがないかよく確かめ、もし間違いがあったらその旨申し出て訂正してもらってください。また、保険証は常に手元に保管し、預けっぱなしにすることのないよう大切に取り扱いましょう。

優勝ドジャーズ

六月十七日竹園高校グラウンドで行われた第二回町民ソフトボール大会は晴天に恵まれた日曜に、女性及び中高年齢の健康増進と親睦を深めることを目的として十六チームの参加で熱戦が展開されました。

結果は次のとおりです。

優勝 ドジャーズチーム
準優勝 大正通チーム
三位 東町チーム
三位 新潟ケンベイチーム

山頂全員無事登山 町民ハイキング大会

去る六月二十四日例年行われている春の部の「町民ハイキング大会」は参加者七十三名で元気に角田山頂へ...家族ぐるみで楽しむことを目的とするこの大会に、老人、幼児と毎年二回登山しています。この度も、



▲2才のボクも元気に登山



▲頂上で楽しいレクリエーション

二才の赤ちゃんがお父さんとお母さんに手をひかれ、急な坂道をヨチヨチと元気に山頂まで歩き続け大勢の人の拍手を浴びました。山頂では楽しい中食、ゲームで時間をすごし、みんなで「山をきれい

にしましょう運動」としてゴミをひろい、きれいになった山頂と別れ、三時三〇分下山いたしました。

番号	書名	出版社	著者名
149	リクエスト、りくえすと	ミネルヴァ書房	尾島勝敏
150	井上ひさしコント集	講談社	井上ひさし
151	薬学よもやまばなし	同文書院	日野恵司
152	女地獄 獄門帖	双葉新書	島守敏夫
153	モッキンポット師の後始末	講談社	井上ひさし
154	しっぽをつかまれた欲望	六興出版	パプロ・ピカソ
155	第三物理の散歩道	岩波書店	ロゲルギスト
156	本居宣長	清水書院	本山幸彦
157	命売ります	集英社	三島由起夫
158	白き狩人	祥伝社	渡辺淳一
159	恐喝の街	ベストセラーズ	桜田忍
160	検察の翼	広済堂	福本和也
161	妖盗往来	桃源社	島田一夫
162	気の本	エコノ出版局	藤平光一
163	セントラルリーグ選手教本	ベップ出版	鈴木竜二
164	ステージ奇術入門	日本芸芸社	キタミマキ
165	風土とともに	学生社	安芸敏一
166	肝心かなめの健康	ベストセラーズ	原田尚
167	個性の生物学	講談社	大沢文夫
168	銀河系の悪魔	徳間書店	スーパー・バーバリン
169	ロンドンパパ	駿々堂出版	吉田健一
170	薬草小事典	池田書店	長塩容伸
171	日本人の顔	平凡社	榎宏治
172	氷河時代	講談社	鈴木秀夫
173	きもの本	光文社	塩月弥栄子
174	バカウケ虎の巻	勁文社	細野邦彦
175	現代の婦人問題	創元社	竹中恵美子
176	地中海紀行	駿々堂出版	井上宗和
177	世界の小話	潮文社	ミクロ・ユーモレスク
178	旅のABC	実業の日本社	種村直樹
179	人の心を制する名文句	日本芸芸社	市原鶏也
180	こんな親でありたい	評論社	田崎仁

番号	書名	出版社	著者名
181	礼儀作法入門	祥伝社	山口瞳
182	クロワゼットの透視力	二見書房	中岡俊哉
183	アラビアンナイト99の謎	サンボージャーナル	矢島文夫
184	下り、はつかり	光文社	鮎川哲也
185	蘇える金狼	徳間書店	大藪春彦
186	破れかぶれ	毎日新聞社	川口松太郎
187	浪人まつり	桃源書房	山手樹一郎
188	大地震あなたはどうなる	金園社	高木隆史
189	クルマとつきあう法	ごま書房	樋口健治
190	黒豹の鎮魂歌	徳間書店	大藪春彦
191	現代用語新辞典	梧桐書院	酒井英己
192	暮らしの中のことわざ辞典	集英社	折井英治
193	愛の帆船	講談社	西條八十
194	地球の科学	保育社	佐藤正
195	未知なるUFO	大陸書房	ドナルド・E・キーボン
196	マンボー博士と怪人マブゼ	新潮社	北杜夫
197	夢占い	鶴書房	浅野八郎
198	世界怪奇情報大事典	講談社	南山宏
199	きけわだつみのこえ	光文社	日本戦没学生記念会
200	クルマ常識の盲点	講談社	難波靖治

公民館では、このたび県立図書館巡回図書の入替えをいたしました。図書目録は左記のとおりですので、読みたい本がありましたらお気軽にご利用下さい。

公民館図書室

巡回図書のお知らせ

老人と嫁の交歓

押付若妻会



昔は極端に言えば、たんぼは社交の場であり、情報交換の場でもありました。それが今では農業の機械化、薬品化によって作業能率が上がったために、たんぼにいて顔を合わせる時間がほとんどなくなり、それが、農村でも、「秋深き隣は何をする人ぞ」という芭蕉の俳句のような隔絶を生む結果となったといえるでしょう。ねこのひたいほどの狭い土地に住んでいながら、道で会っても

「あれどこのじじ(ばば)だ」とか、「あれどこの嫁だ」というのが、部落の実態ではないでしょうか。私たち若妻会は去る五月三十日、新潟放送に出演させていただく機会を得まして、みんなで話し合ったことは、「こうして出演できるのも、家において子供の面倒を見てくれるじいちゃん、ばあちゃんがいられるからだ。私たちがもつ老人の存在を知るとともに、感謝の気持ちを表す機会を持ちたい」ということでした。そして老人会に申し入れましたところ、快く承知してくれました。



六月十日、私たちの願いを入れて、会場の和光幼稚園へ集まってくださったお年寄りは男八名、女三十四名の計四十二名でした。お昼前、相互の会員の紹介があった後、真島美枝子会長から、きょうの集いにいたるまでのいきさつを説明して、今後またたびお集まりを持って融和を深めたいとあいさつすれば、真島浩平会長から、この場のなごやかな和をそのまま家庭へ持ち帰ってもらいたいと、謝辞と希望を述べて、あとは飲めや歌えの楽しい交歓となりました。渡辺玲子さんの新潟放送のアナウンスも願掛けするような見事な司会で歌う瀬戸京子さん、真島裕子さんの歌も、地元での心安さか、三十日のテレビ出演時よりはるかにすばらしいでございました。

県主催の研究會に出席して

井潟地区保健委員 前出マツエ

下越地区食生活改善推進員研究會が六月四日、新潟地区合同庁舎において開催され、保健婦さんと共に出席させていただきました。「元気で長生き運動」というテーマの研究會で、自分の年齢にふさわしい勉強だなあと、思い張りきって参加致しました。感想ということでもなく、研修内容を二、三あげてみます。

初めに新潟県衛生部長のあいさつの中に、「人を愛し、仲良く手をとりあって活動を進めてもらいたい」との事でした。あいさつの中でもう一つ初めて知ったことは、「県民の健康作りは、今始まったことではなく、奈良時代、平安時代からつたえられているとの説明で、戦前は、ドイツの影響が大きかったので、お医者さんは、ドイツ語を話すとか。戦後は、アメリカ風にならなくなってしまい、肉やパン食などすべてアメリカ風になってきた」ということでした。

次に、元気で長生き事業についての実績発表二人で午前の部が終わり、午後は分科会にわかれての研修でした。県民の健康づくり対策についての討議で、各市町村の活

動発表からでした。西川町の保健委員も役場や保健婦さんの御指導で研修や伝達に一生懸命ですので、他町村に恥じることもないと思いましたが、老化を防ぎ、元気で長生きするための対策として、食生活が根本的な点と考へさせられました。発表内容のなかから、西川町と変わった活動をしているものを町別に二、三あげてみます。(津川町)元気で長生き事業を進めるために、委員さんが役場から町のマーク入りのエプロンと、三

若者教室開設内容について

【対象年齢】18才～25才までの男と女

みなさんは、若い世の中の「ケガレ」に染まっていない「明るいたくさんの夢と希望をもっています。しかし夢と希望は、一足飛びにかなえられるものではありません。そのため社会人として基礎的な知識、仲間づくりができてこそ、小さな仕事の積み重ねによって、大きな望みを達成することを……。

このたび公民館では、下記に依って「若者教室」を計画いたしました。一人でも多く出席して頂き、より良い学習内容にいたしたくみなさんの出席をお待ちしております。

【研修期日】	と き	第1回目	7月19日	P.M.19:30～21:00
		第2回目	10月19日	P.M.19:30～21:00
		第3回目	12月19日	P.M.19:30～21:00
		第4回目	2月19日	P.M.19:30～21:00
ところ	福祉会館1階大講堂			
※第1回目はたのしいダンスと講話、映画(次回の2、3、4はみんなの話し合いで内容をきめたいと思います。				

〔わたしの作品〕



画題「つなひき」

鑑郷小学校3年 藤田未砂さん

〔評〕
綱引きをする元氣なかけ声が聞こえてくるようです。
応援団の真剣な表情がよく表われています。
担任 横山正二先生



母子・父子家庭の皆さんへ

西蒲原郡母子福祉連合会では母子・父子家庭の母と子、父と子を対象に次のような「海への誘い」を計画いたしました。希望者は、母子福祉会長 中沢キイ (電話2472) まで申し出て下さい。

- 期 日 昭和54年8月5日(日)
- 場 所 巻町五ヶ浜海水浴場
- 集合場所 巻駅前(9時まで)
- 参加費 1世帯 100円
- 申込締切 昭和54年7月20日

※くわしいことは希望された人あてにお知らせします。
西川町母子福祉会長 中沢キイ

●7月の衛生行事●

月日(曜)	種目	対 象	場 所	時 間	備 考
19日	1才6ヶ月児検診	昭和53年11、12月生れ。前回来受診者	福祉会館	午後1:30~2:30	母子手帳持参
26日	乳児産婦健康相談	昭和54年5月生れ。前回来受診者	〃	午前9:30~11:00	〃
26日	乳児検診	昭和53年8月及び昭和54年1月生れ。前回来受診者	〃	午後1:30~2:30	〃



グラウンド利用の皆さん!

八月分の「グラウンド」使用抽選会は、七月二十日(月)午後七時半から福祉会館で行います。

- | | | |
|---------|---------|-------|
| 氏名(旧氏名) | 世帯主 | 部 長 |
| 藤田 和彦 | 藤田 藤衛 | 升 岡 |
| (神田)フジイ | 多賀 藤次郎 | 矢 島 |
| 多賀 恵吉 | (渡辺)まつの | 大島利兵衛 |
| 大島利兵衛 | (本間)典子 | 川 崎 |

お知らせ

『行方不明の人を捜す相談所』 (無料)開設

警察では、次により行方不明の人を捜す相談所を開きますからお気軽にご利用ください。

1.巡回相談所(午前9時~午後5時)

と き	と ころ
8月2日(木)	新発田警察署(電話2-5151)
8月3日(金)	三条警察署(電話2-1331)
8月8日(水)	長岡警察署(電話32-2121)
8月9日(木)	上越北警察署(電話43-3121)

2.常設相談所

(平日午前9時~午後5時。土曜日前9時~午後0時30分)

と き	と ころ
上記相談所開設日を除く 8月1日から8月31日まで	県警察本部鑑識課(新潟中央警察署4階) (電話28-2121・内線510-512)

- 家族や知り合いの方が家出をした。
- 外出したまま行方がわからなくなった。
- 出かせぎ先から便りがと絶えた。

等で、その後消息が知れずお困りの方は、ぜひ相談においでください。

相談所では、全国各地で亡くなられ、身元のわからない方の写真や持ち物などの記録を多数用意しております。

相談においでの際は、なるべく本人の写真や家出当時の状況のわかる資料(身体、服装、所持品などの特徴)をご持参ください。

なお、本部鑑識課では期日経過後も相談に応じています。

屋外広告物講習会の開催

屋外広告業を営む者は、新潟県屋外広告物講習会修了者の設置が必要です。

県では次により講習会を開催しますので、希望者は受講申し込みください。

- 1.期日 昭和54年7月27日(土)午前10時~午後5時まで
- 2.場所 新潟市川岸町1 新潟県土地改良会館
- 3.申込手続 昭和54年7月20日までに新潟市学校町通1番町 新潟県土木部都市計画課まで申し込むこと。

なお、講習会の詳細については、最寄りの土木事務所又は県庁都市計画課にお問い合わせください。



二ヶ月間

氏 名 高橋 磨木子
生 日 生 日 保 護 者
創物 真由美 武 部 長
賢 雄 大 湊 善光寺
大 湊



町民のうき

町民のうき